

議会報告会を終えて

5月16日に議会報告会を開催いたしましたところ、ご多用の中、多くの方々にお越しいただき、誠にありがとうございました。

今回の議会報告会では、市議会の概要の説明に加え、今年の3月定例会で可決された議案等につきまして、それぞれ関係する常任委員長から審査された内容を報告させていただきました。当日、質疑・応答の時間やアンケートにより、市民の方々から今回の報告会や市議会に対して様々な意見を頂戴いたしました。今後の議会報告会がより良いものとなるよう、いただいた意見を参考に改善を図っていきたく存じます。

結びに、高岡市議会が、皆様にとって身近な議会、開かれた議会となるよう、議員全員が全力で取り組んでまいります。今後とも、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年7月8日

高岡市議会議長
狩野 安郎

議 会 報 告 会 実 施 報 告 書

開催日時	令和元年5月16日（木）午後7時～午後8時15分	
開催場所	ウイング・ウイング高岡 ホール	
出席議員	26名	
役割分担	司 会 藪中 一夫（広報広聴委員長） 報告者 福井議会運営委員長、中村民生病院常任委員長、 横田産業建設常任委員長、中川総務文教常任委員長	
参加市民数	80名	
実 施 内 容 報 告	開催挨拶	狩野 安郎 議長
	議会概要	市議会の概要（福井 直樹 議会運営委員長）
	常任委員会報告	□3月定例会審査内容等について ・民生病院常任委員会（中村 清志 委員長） ・産業建設常任委員会（横田 誠二 委員長） ・総務文教常任委員会（中川 加津代 委員長）
	一括質疑	別紙参照
	閉会挨拶	坂林 永喜 副議長

議会報告会 一括質疑

1 Q 終了時間が午後8時であり、開始から1時間で終わってしまうのは、あまりにも短く、意見を述べる時間が無い。市議会の仕組みの説明は、配付された「市議会あんない」を見ればわかる。時間をそんなにとる必要はない。常任委員会の報告も「市民と市政」や「議会だより」を見ればわかる。ポイントを説明してくれば十分。市民からの質疑応答の時間に多くの時間を割いてほしい。

A 8時ちょうどに閉会するつもりは無く、皆様からご質問やご意見があれば延長するつもりで考えている。ただし、会場予約時間の関係から、片付けの時間も考慮し、8時ごろまでとさせていただいた。議会報告会の内容についてのご意見は、広報広聴委員会で検討し、今後の議会報告会につなげていきたい。

2 Q 民生病院常任委員長から、「共創による魅力アップ推進事業」予算の報告があった。現在、市は「共創によるまちづくり」を推し進めているが、共創のまちづくりについて、どのように認識しているか。

A 「共創」は文字通り、共に創り上げるものという意味で、共創のまちづくりとは、行政からの一方的な押し付けではなく、市民がいろいろなことを考えながら、まちを創り上げていくものだと考えている。また、行政もそれに対し、サポートを行うことで、さらにより良いものを共に創り上げていくものと認識している。これからも様々な市民の活動団体と地域、行政が連携し、共創のまちづくりを推し進めて頂きたい。

3 Q 議員は選挙で選ばれた市民の代表であるが、市民の声をどのように聞き取っているのか。

A 市民の声を聞くには、市民との距離を短くすることが必要であると考えている。その方法の一つとして、今回の議会報告会は大変重要な機会であると捉えている。しかしながら、市のホームページや議会だよりに掲載の案内を掲載し、各議員が自治会等、大勢に声掛けを行ったにもかかわらず、参加人数があまり多くなかったことについては、これからの検討課題になると思う。内容についても質問の時

間を増やし、市民の声を聞くことが大事であると思う。今後も議会報告会は開催したい。

- 4 Q 請願を提出した場合、まず委員会で趣旨説明を行うかどうかを判断し、趣旨説明を行うことを決定した場合、委員会で請願者本人が、直接趣旨説明ができ、議員から質問され、意見交換ができると聞いている。請願した内容について意見交換することは大事であるため、必ず趣旨説明の時間を取り、意見交換したうえで、請願を採択するかどうかを決める仕組みにしてほしい。

A 請願の提出に関しては、議会でハードルを高くしているわけではない。それぞれの委員会で、内容を十分に審議し、趣旨説明が必要な案件かどうかを決定している。先般の3月定例会でも総務文教常任委員会で、「公共施設の使用料の大幅な値上げに反対する請願」に関して、提出者の代表者に貴重なご意見をいただいたところである。今後も内容をしっかり審査したうえで、趣旨説明が必要かどうかを決定していきたいと考えている。

- 5 Q 南砺市が議会報告会を初めて行ったとの新聞報道があった。議員が2日間にわたり2会場に分かれて担当したようで、その時に意見交換の時間があり、議員定数を増やすかどうかという議題について、市民と議員が意見交換を行ったとの記事があった。このように意見交換を積極的に行っている市もあるので、議会報告会の開催についても柔軟な考え方で取り組んでほしい。

A 広報広聴委員会においても、どのような形の議会報告会が良いのか、開催場所や時期などについて、色々な意見がある。いただいた意見をしっかり踏まえて、広報広聴委員会で協議をしていきたい。

- 6 Q コミュニティバスの廃止に納得できない。高齢化社会を迎え、免許の返納や高齢者の事故がクローズアップされているなかで、コミュニティバスの廃止はまずいのではないのか。コミュニティバスの廃止に至った経過を教えてください。

A コミュニティバスの廃止については、市民から様々なご意見をいただいている。不便を強いられていることは議会側としても切実に受け止めている。当局とも色々と議論を交わしながら、対策を練っているところである。

市の見解は、これまで沿線住民の声を反映したルートやダイヤの見直しといった改善策に取り組んだものの、利用者の減少や循環型バスの利点が活かされていないなど、課題の解決に至らなかったことを廃止の理由に挙げている。また、車両の更新時期を迎えたことも廃止の背景にあり、平成 29 年度をもって運行終了を判断された。

交通不便な地区や廃止になった地域、それ以外の地域からも要望があがっているため、交通空白地域の対策について、市ではこれからの方向性を示し、交通に不便を感じておられる地域に対して「地域バス」や「地域タクシー」といった市民協働型の交通手段の支援制度を全市的に展開したいと考えており、出前講座や地元説明会を通じてこれらの支援制度の紹介や内容の周知に努めているところである。